

令和8年8月4日

鳥取県知事定例記者会見

令和8年熊本地震に係る対応と防災対策強化

◆7/29熊本県庁ヘリエゾン2名派遣 ◆7/31氷川町(対口支援先)へ支援開始
【鳥取県からの主な支援状況】(総数延べ117名)

警察災害派遣隊	7/28～(4部隊、延べ41名)	人命救助、交通規制、被災者支援等
情報連絡員	7/29～(現在第2陣、延べ4名)	中国5県を代表して熊本県庁で連絡調整等
建築物・宅地等	7/30～(現在第2陣及び国交省要請分、延べ18名)	建築物・宅地の応急危険度判定支援等
鳥取DMAT	7/30～(現在第2陣、延べ20名)	病院支援、診療所スクリーニング、避難所支援等
給水車・トイレカー等	7/31～(延べ8名 ※協定事業者の人数を除く)	・米子市から給水車派遣 ・県の協定事業者による給水支援 ・県のトイレカー3台、シャワーカー1台を派遣
罹災証明発行等	8/1～(現在第1陣、延べ10名)	罹災証明の受付・発行に向けた準備等
保健師チーム	8/1～(現在第2陣、延べ6名)	氷川町や他県等と連携し支援内容調整、個別訪問
避難所運営等	8/5～(第1陣10名)	氷川町の避難所運営支援[国からの緊急要請]

【氷川町への対口支援団体(役割分担)】

避難所運営等：愛媛県、高知県、佐賀県 住家被害認定：広島県、佐賀県

罹災証明発行：鳥取県、島根県 本日(8/4)予備費5千万円を発動→機動的に対応

早期の復旧を図るために～本県の初動対応を検討

今後、専門家を交えた避難所環境等の再点検を行うい、様々な課題への解決方法を市町村と「防災対策研究会」等で検討(8月下旬)の上、今年度末に地域防災計画を改正

①避難所に来られない被災者を見落とさないために

・支え愛避難所(住民が自主運営する避難所)を活用した支援、車中避難へのサポート

②災害関連死、体調悪化を防ぐアメニティ等の早期準備

・ガソリン不足対策、トイレ、空調等の調達、電源確保(電源車、発電機等)、物資輸送体制 等

県内産業・事業者への影響と対策

半導体・自動車生産拠点が集中する九州

・順次再稼働も、一部は装置調整に時間を要し再開未定、本州の拠点到影響が拡大中

サプライチェーン寸断が県内事業者にも影響するおそれ

・取引先・生産協力企業が被災 → 熊本県内の納品先・調達先の被害状況を調査中

・道路・鉄道網の被災 → 熊本県内の高速道路が使えず工業製品、水産品等の仕入出荷困難

本県立地企業の九州拠点影響 → 飲料水生産工場が稼働停止 → 本県工場活用へ

そのほか県内拠点での代替生産の動きも(食料品製造)

「熊本地震に係る県特別相談窓口」(7/29開設)(TEL:0857-26-7538)

本日(8/4)災害等緊急対策融資「令和8年熊本地震対応枠」5億円を発動

・利率1.63%の低利融資により、取引先の被災等により影響を受ける事業者を支援
・各金融機関・商工団体・県特別相談窓口で受付

県有施設の緊急点検を実施(ガス・煙突)

「イオンモール熊本」爆発事故や「日本製紙八代工場」煙突倒壊を受け、**県有施設のガス設備・煙突等を緊急点検することを決定**

【ガス設備】庁舎・県立高校など、ガス設備を有する全施設(LPガスタンクによるもの10施設、その他ボンベ等も含め全80施設)を対象に緊急点検(～9月中旬)

＜施設＞LPガス貯留タンク設置：10施設(厚生病院、県立高校など)

LPガスボンベ設置、都市ガス利用：70施設(本庁舎など)

→感震遮断装置やガス漏れ警報器など安全装置の作動確認 など

【煙 突】各総合事務所や家畜保健衛生所など、煙突が設置されている施設(全14施設中、直近での点検未実施の12施設)を対象に緊急点検(～8月末)

→空調熱源用煙突(9施設)と焼却用煙突(3施設)毎に強度点検 など

→点検結果を踏まえ、必要に応じ、設備補強・修繕等を実施

LPガス供給設備の安全対策

緊急対策として一般家庭向けのガス警報器設置補助制度創設(9月補正で対象拡大)

・地震等によるガス漏れ・火災等を未然に防ぐためガス警報器設置支援・啓発

※従来の感震ブレーカー設置事業補助金の補助対象を拡充

熊本地震の発生を受け、県内LPガス事業者へ改めて保安確保を呼びかけ

・LPガス供給設備の安全性の点検、必要な維持管理の徹底

・保安管理体制の適切な確保

ふるさと納税代行受付の開始

熊本県及び氷川町に対するふるさと納税の代行受付スタート

受付サイト：ふるさとチョイス

支 援 先：熊本県、熊本県氷川町

期 間：8月4日(火)から当面の間

(歳出予算は9月補正で措置(1.5億円程度))

(熊本県への寄附) (氷川町への寄附)



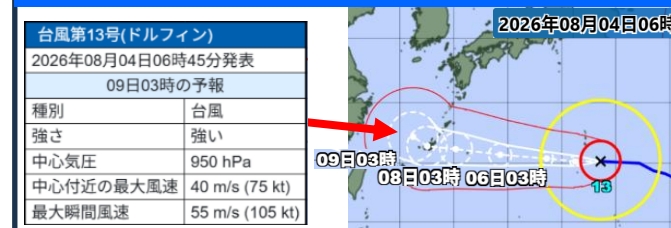
フェイク情報対策支援

フェイク情報・真偽不明情報が拡大傾向

県民や災害対応現場に混乱リスク拡大

フェイク情報対応実証チームがサイドサポート
フェイク情報をモニタリングし、熊本県へ情報提供

【台風第13号の強風、交通の影響等に注意】



「経済財政運営と改革の基本方針2026(骨太の方針)」 7/21閣議決定

【本県に影響がある主な項目】

- 「人口総合戦略(仮称)」の策定(2026年末目途)
- 「地域未来戦略」の推進
- 地方の一般財源総額確保と税の偏在是正
- 高専の新設・機能強化を含む高校教育改革の促進
- 持続可能で活力ある国土の形成と交通空白解消
- 経済・物価の動向に応じた報酬改定
(診療・介護・障害福祉サービス等)

〔R9概算要求基準(7/30)閣議了解〕

『「強く豊かな日本」投資枠』の創設、補正予算依存からの脱却 など

【飲食料品の消費税減税について】

社会保障国民会議が給付付き税額控除、消費税減税等の中間とりまとめを報告

給付付き税額控除	R11年度に所得に連動した給付を導入
消費税減税	・R9.4から2年間、飲食料品の消費税率を1%とする ・飲食料品消費税1%相当分の範囲内で、給付をR9年度に導入

⇒7/30、高市総理が飲食料消費税1%への引き下げに向けた自民党内意見集約を指示

<本県影響額> (単年、億円)	合計	地方消費税	地方交付税
	▲58(県30、市町村28)	▲42(県21、市町村21)	▲16(県9、市町村7)

国への要望活動 8/6ほか

国及び県国会議員に対し市町村・議長会等六者で提案・要望

- ・中東情勢に伴う重要物資の安定的な供給確保及び物価高への対策
- ・地域未来戦略の推進 ・県立高専の設置検討支援 ・高校教育改革
- ・地方税財政の充実、強化(消費税減税に伴う財源措置も)
- ・高規格道路ネットワークの整備促進と暫定2車線の早期解消 など

全国知事会要請活動 8/18ほか

国と地方が車の両輪で効果的な対策を講じていくため、新たに知事会に設置する「人口戦略推進チーム」との連携等について、人口戦略推進を図る申入れ活動

- ・城内 実 全世代型社会保障改革担当大臣 はじめ政府関係
- ・林 玲子 国立社会保障・人口問題研究所 所長 ほか

自治体病院持続的経営に向け国(総務省・厚労省)へ緊急要望 8/19

全国の自治体病院の8割以上が赤字経営(R7決算)

地域医療の最後の砦として住民の生命と健康を守る

(自治体病院開設者・自治体病院共同要望)



- ・健全な経営、医療提供維持への予算措置、診療報酬の中間年改定
- ・地方交付税措置等の財政措置の拡充
- ・機能分化・連携強化に伴う施設、設備整備等に係る財政支援
- ・石油由来製品の安定供給・適正価格維持の対策 など

米国の新たな関税措置(7/24～)

米国は、7/24、60ヶ国・地域に対し、通商法301条に基づき、10%又は12.5%の追加関税措置を発動。

✓日本:既存の関税と合計で上限12.5%(韓国、スイスと同様)

※自動車、自動車部品、鉄鋼アルミ等への分野別関税とは重複しない

✓EU、台湾:上限10% 中国、ブラジル等:追加12.5%

R7.8 相互関税15% → R8.2 代替関税10% → 今回12.5%



県内への影響は顕在化していないが、新たな受注減等を懸念する声も

(金属加工)関税措置による注文減少や取引停止の可能性を懸念

(食品製造)米国内の深刻な物価高の影響で、輸出品が売れにくくなることを懸念

【本県の対応】

「米国関税窓口」で支援するとともに、県内事業者への影響モニタリングを強化するほか、海外新市場からの外需獲得、JETRO等との連携支援

農地等へのクマ出没状況・事故防止対策の強化

- ・直近3か年同時期の約2倍出没
- ・夏はオスや若い個体の行動範囲拡大
- ・東部地区の梨園でクマによる食害が発生（鳥取市佐治町・福部町ほか）
→農業団体、市町村へ農地等での遭遇に対する注意喚起

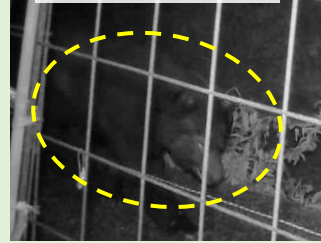


梨園での被害（鳥取市佐治町）

<鳥取市佐治町（梨園）での対策強化>

- ・県が自動判別センサーカメラを設置監視
⇒3梨園で設置、出没を即時把握
- ・痕跡物（梨残渣）のDNA分析を依頼
（加害個体識別のため）
- ・捕獲檻を3地点に設置し、有害捕獲を実施
8/1 1頭捕獲 → 駆除 → DNA分析中
※加害個体と捕獲個体の同一性を確認（盆明け結果判明へ）

鳥取市佐治町



R8年9月補正で支援強化（5百万円）

市町村との連携のもと、クマによる農作物被害、人身事故防止へ

〔電気柵貸出制度の創設〕

- 緊急支援として県保有の電気柵を市町村へ無償貸与
- ・電気柵を追加購入（50a／箇所×7箇所相当）→

〔市町村への財政支援〕

- ・放任果樹伐採、クマ除け鈴購入・配布等への補助金拡大

<電気柵>	
現保有	7
追加	7
計	14

県内における渇水の状況と対応

7月の降水量が平年の2～6割と少ない状況

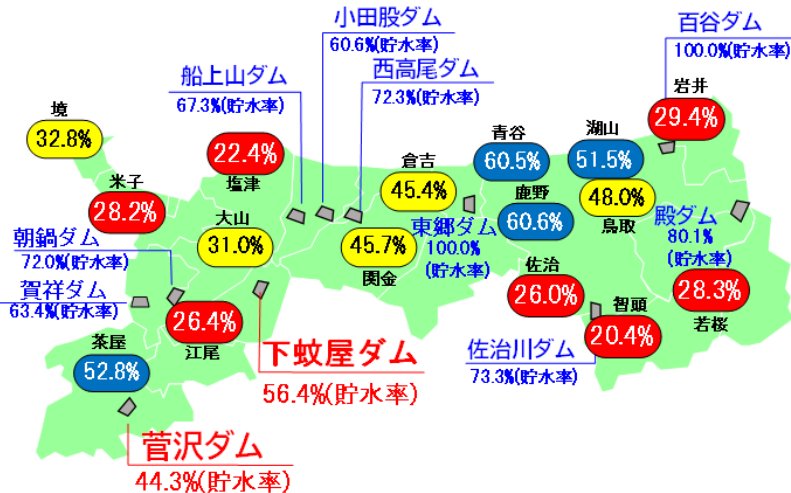
- 日野川流域では農業・工業・上水で15%取水制限

高温少雨が続けば更に取水制限引き上げも

- 水稻等の出穂期を迎え、番水・節水栽培を指導

- 日野川（南部町、日野町）、勝田川（琴浦町）、蒲生川（岩美町）では農業用水確保のポンプ設置等で緊急対応

- 「みんなで取り組む渇水対策事業」により給水ポンプ・給水車リース、燃料等を支援



赤	平年比 30%以下
黄	平年比 30～50%
青	平年比 50～70%

高度化するAI技術の適切な活用と対策

AIエンジン高度化、AIエージェント、バーティカルAIなど、急速にAI・AX社会へ

『人間主導のAI（ええ愛）ガイドライン』改訂

- AIが自らの判断で自律的に稼働するAIエージェント技術の活用範囲を明示
⇒意思決定や民意収集、重要インフラの運用管理には利用しない 等
- 各所属が個別業務用AI（バーティカルAI）を導入する際の基準をルール化
⇒AIの学習データやアルゴリズムの偏りにより公平性が阻害されないよう留意 等
- 県が業務委託する際のAI活用基準をルール化
⇒納品業者に対し、第三者の権利侵害の防止、県情報の漏洩防止対策を要求 等
- AI活用に向けた県職員の心構えを追記
⇒AIに依存し過ぎず、県職員として住民等に接し考え、経験や研鑽を積む

8月中に

- 『AX県庁推進本部会議』を核として、AIの活用と適切なガバナンスを全庁展開
- 県庁職員向け汎用業務用AI『鳥取県庁生成AIシステム』活用開始

人間主導の理念を堅持しながら、あらゆる分野にAI・AXの実装を加速させ、県民の豊かな暮らし、行政サービスの高度化・業務効率化を推進

県民目線に立った美術館の実現に向けて 県民電子アンケートを実施



開館2年目を迎え、多くの県民が参画しながら、魅力的かつ集客力のある美術館の実現に向けた「県民参画電子アンケート」(8/5～8/31)

【アンケート項目(例)】

- ・興味のある企画展のテーマ
- ・美術館へ行く理由・行かない理由
- ・企画展観覧料の設定(高い・安い)
- ・アートや展覧会以外での利活用 など

利用者数の推移	第1四半期	第2四半期	第3四半期	第4四半期	計
開館1年目	120,766人	99,083人	61,357人	36,453人	317,659人
2年目	43,440人	16,288人	※8/3時点		59,728人

「県立美術館集客対策会議」の立ち上げ(8/6)

(構成) 村井良子氏((有)プランニング・ラボ代表/金沢21世紀美術館、横浜美術館等の外部評価・計画策定委員を歴任)、とっとり県美応援団、倉吉自治公民館連合会、倉吉商工会議所、県小学校長会、こども未来ネットワーク、県観光連盟、とっとりコンベンションビューロー など

(内容) ユニークベニュー(貸館)の促進、企画展のあり方、効果的な情報発信 など

⇒アンケート結果も踏まえ、県民目線で幅広く議論し、有効な対策は9月補正も含め予算検討

キズキアイとっとり県民運動

～気づき合い、築き合う。アンコンシャス・バイアスを克服し、みんなが暮らしやすい鳥取へ～

性別によるアンコンシャス・バイアスの解消に向けた『キズキアイとっとり県民運動』を展開

【よりん彩開設25周年記念フォーラム】(8月8日 エースバック未来中心)

◇「キズキアイとっとり」ロゴ・シンボルマーク発表・表彰

◇安藤優子氏(ジャーナリスト・キャスター) 記念講演

演題「報道の現場から」～アンコンシャス・バイアスの解消と男女共同参画の推進～

□キズキアイとっとりパネル展示、警察音楽隊、グルメ出店 等



【情報発信の強化/8月から】

日常にあるモヤモヤを親しみやすいキャラクターが語り合う動画発信(とりネット、Tver、YouTube等)や街頭LED広告、ポスター・チラシ作成等

○メディア広報 テレビ・ラジオCM、Tver、ウェブ(Youtube等)

○街頭LED広告 鳥取・倉吉・米子市内 ○PRツール作成 ポスター・チラシ・うちわ等



【「未来を選択する会議」との連携】

8/8に『真因の時間～人口減少時代の選択～』予告編を上映。

同会議の募集と連携し、「対話実践」企業等を掘り起こし。



第13回全国高校生手話パフォーマンス甲子園

(9/27 とりぎん文化会館)

7/28(火)に予選審査会を開催し、予選参加49チームの中から
本大会に出場する16チームを決定(11都府県19校)

■本大会出場

<県内出場チーム(3)> ※いずれもダンス・歌唱部門(過去最多)
米子東高、米子松蔭高、鳥取聾学校・鳥取城北高(初めての合同チーム)

<初出場チーム(4)>

[演劇・コント・ポエム等部門] ^{にしわき}西脇高(兵庫県)、^{こうなん}光南高(福島県)

[ダンス・歌唱部門] ^{たちばな}立花高(福岡県)、^{よしわら}吉原高(静岡県) ※アドバイザー派遣実施

■選手宣誓チーム ^{こうなん}光南高(福島県)

(併催) とっとり手話フェス2026 (9/23～27 とりぎん文化会館)

9月23日(水・祝)手話の日オープニングイベント開催

・手話パフォーマー『きいろぐみ』などプロによる「手話パフォーマンスステージ」

・鳥取聾学校生徒による「手話カフェ」(スターバックス協力)

・「手話の日ブルーライトアップ」の実施(18時～) など



第12回大会 米子東高等学校

高校生ボランティア募集中!!(8/31締切)

手話フェス(9/23)や本大会(9/27)と一緒に盛り上げよう!

WMGとっとりおもてなし決起セレモニー

本日13時～
於 本庁舎ロビー

世界がやってくる17日間！
おもてなしでとっりの魅力を世界へ

世界50カ国
以上から
約1.2万人が来県



ボランティア募集開始（8/4から）

多言語対応による大会受付、会場案内、競技補助など延べ2,600人募集
高校生、国際交流団体、商工団体有志などによる「ボランティア決起宣言」実施

「柔道家アンバサダー」任命式

ベテランズ柔道欧州大会王者 パスカリン・マニユ氏
ベテランズ柔道チャンピオンシップ欧州大会 優勝（2019年）
5月の来県時、本県の自然・食・競技環境などに感動



「鳥取和牛フェア2026」in ホテルニューオータニ東京 （8／1～9／20）

◇レストラン8店舗において鳥取和牛メニュー提供

◇中島総料理長一押しの県産食材新メニューも

- ・「新甘泉」と地酒「日置桜」のカクテル
- ・「大山山麓牛乳」ジェラート



〔国内外へ向け「トップセールス（8/23）」〕

中島眞介総料理長、谷宜英エグゼグティブシェフソムリエと知事の
対談を通し、Japan Times等で国内外に向けてアピール



とっとりワクスタFES～おしごと体験in倉吉～ （8/12 倉吉体育文化会館）

県内企業の30種類以上の仕事を社員の方と一緒に
楽しみながら仕事体験

- ・星空が見えるホテルの「記念日宿泊プラン」
- ・「施工管理の仕事」をカードを使ってゲーム感覚で体験 など

今回初：デジタル広告デザインの制作、宇宙産業関連部品の製造

【ターゲット層】県外大学から帰省した学生、高校生、保護者



無料送迎バスや
とりふるポイント
等、嬉しい参加
特典がたくさん！

全国中学校体育大会開催（8/19～23）

大会スローガン『努力を自信に 自信を翼に 未来に羽ばたけ 中国の地で』

- ・新体操（8/19～8/20 ヤマトスポーツパーク鳥取県民体育館）
- ・相撲（8/22～8/23 倉吉体育文化会館）
- ・バドミントン（8/20～8/23 米子産業体育館）



中学生減少や大会運営負担軽減のため、令和9年度以降大会規模縮小
⇒新体操、相撲は今回が全国中学校体育大会として実施する最後の大会

海運セミナー2026（8/7）

- 山陰近畿自動車道南北線によりアクセスが向上する鳥取港の更なる物流の拠点化を目指し、海運への理解と関心を深めるセミナーを開催。
- 海運を活用した県産品の輸出や販路開拓に取り組む事業者を講師に迎え、実際の活用事例や輸送上の工夫について紹介。

【事例紹介】

海を渡る鳥取県のブランド「白バラ牛乳」 大山乳業農業協同組合

鳥取の輸出を支える地域商社 FMLIインターナショナルジャパン

【現地視察】

鳥取港海上見学



鳥取港を海上から体感

荷主企業（製造業、商社、木材・建築業等）、物流事業者、鳥取港振興会会員、経済団体、自治体職員 など

鳥取県漁業協同組合
午後1時30分～

「名探偵コナンまつりinまんが王国とっとり」開催

8月8日（土）とりぎん文化会館

チケット完売！
抽選倍率 3.3倍（過去最高）
全国からファン約2,000人が
鳥取県に集結！



- ・スペシャルトークショー
- ・アーティストミニライブ（SARD UNDERGROUND）
- ・物販コーナー
- ・白バイ展示 等



祝10周年！「漫画 四十七大戦×鳥取県」コラボ

主人公「鳥取さん」の戦いを描いた作品の10周年を記念して
 コラボイベントを開催！（作品の魅力を再び体感しよう！）

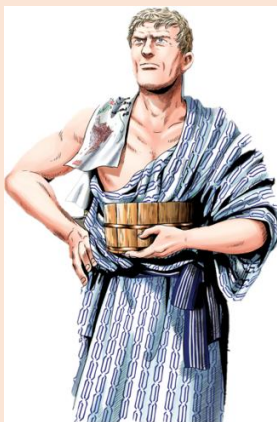
- ① **作者一二三先生を交え「10周年記念祭」**（8/23、川崎市）
 ・トークショーやイラストの制作過程を目の前で楽しむライブドローイングショーなど
 ・「首都：鳥取県」として、作品の応援と本県のPRを実施（PRコーナーの設置や名産品（とうふちくわ）のプレゼント）
- ② **とっとり・おかやま新橋館コラボカフェ**（8/23-26）
 ・両県産品を使って四十七大戦をイメージしたメニューを提供
 ・キャラクター等身大パネル・複製原画の展示
- ③ **知事によるコラボカフェPRイベント**（8/24）
 ・四十七大戦をイメージしたメニューのふるまい等
- ④ **「四十七大戦×鳥取県」聖地巡礼マップ完成**
 「四十七大戦」で描かれた観光地（鳥取砂丘、大山、円形劇場など）や特産品（大栄すいか、新甘泉、松葉がになど）を紹介



「温泉文化アンバサダー」にヤマザキ マリさん決定！

◆2030年「温泉文化」のユネスコ無形文化遺産登録へ向け、その文化的価値と魅力を世界へ発信。

- ◆「温泉文化・世界サミット」9月7日ハワイアロハホールで開催
- ◆『続テルマエ・ロマエ』主人公を温泉サミットのポスターに起用



- ・「温泉文化」ユネスコ無形文化遺産登録を応援する知事の会主催
 平井知事、群馬県・山本知事、宮城県・村井知事ほか出席予定
- ・温泉学会、全旅連等国内外の温泉関係者（約300名）が参加

「温泉湯ったりトットリけん」ロゴマーク決定！

- ◆のぼりやステッカー等に活用し、本県の温泉の魅力を発信
- ◆応募総数480件の中から選定
 大山の稜線や温泉の波紋を配置するなど、鳥取の魅力を一つに集約。
 いけじり えりや
 （制作者：池尻 恵利也さん（東京都））



夏のイベントシーズン到来

鳥取しゃんしゃん祭り(8/13~15)

「とっとりハウェルカニネットワーク連」が初参加！

- ◆首都圏・関西在住の本県出身学生など28名が舞う！

⇒地元の若者へネットワークの活動をPR！
 SNSを通じ、県外の若者にも発信！



メンバーが衣装をデザイン！

『アニメ・リゼロ』もコラボ

イラストフォトスポットを「鳥取市ふるさと物産館」に設置。

前夜祭（13日）には、ベアトリス役の声優：新井里美さんのトークショーを開催。



リゼロスタンプラリー・SNSキャンペーン
 8月末まで実施中

そのほか、県内各地でも夏の催しを開催

- 北栄砂丘まつり（北栄町） 8/23
- KAIKE夜あそBEACH（米子市） 開催中～8/23
- 米子がいな祭（米子市） 8/7～9 など